

中施策評価書

作成日 令和04年 7月 25日

中施策事業名	議会広報広聴事務	部課名	議会事務局・議事課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	26 市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい		
②大施策	市民にとって必要な情報や行政の取り組みを市民に分かりやすく提供する		
③中施策	市民にとって必要な情報を分かりやすく提供する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤、在学者及び市議会議員		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民に議会の活動内容が伝わっている また、議会にも市民の声が伝わっていて、考える機会となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・本会議及び委員会の傍聴に関すること ・議会だよりの原稿及び編集委員会に関する こと ・議会だよりの校正及び配布に関すること ・ホームページに関すること ・議 会放映に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
本会議、委員会の 傍聴者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	440	440	440	440	440	440
	実績値	123	117				
単位	人						
議会の情報が十分に 得られていると 思う市民の割合	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	29	30	31	32	33	34.8
	実績値	24	28.1				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				6, 759千円	5, 408千円	
	a 事業費合計			6, 759千円	5, 408千円	8, 002千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				6, 759千円	5, 408千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				98 円	79 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	C 新型コロナウイルス感染症により、令和2年3月定例会月議会から本会議及び委員会の傍聴を自粛していただいているため、目標値に大幅に達していない。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	新型コロナウイルス感染症の感染状況により、本会議及び委員会の傍聴の再開を検討する可能性がある。 さらに、令和4年2月号の議会だよりからQRコードを導入し、各議員の一般質問の記事からYouTubeに誘導するように、周知を開始した。また、令和4年8月号からは、議会だよりを全面的に刷新し、QRコードで豊明市議会のHPにアクセスできるようにする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	新型コロナウイルス感染症の感染状況により、本会議及び委員会の傍聴の再開を検討する可能性がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 20日

中施策事業名	行政視察・政務活動事業	部課名	議会事務局・議事課
		作成者	塚谷 友昭
①めざすまちの姿	40 市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている		
②大施策	まちを良くしていくために情報を収集し、失敗を恐れずチャレンジする		
③中施策	常に情報を収集し、学ぶ環境をつくる		
④中施策事業の対象	市議会議員		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	議員が本市政策についての提案に資するため、先進事例を調査研究し、一般質問をしている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 政務活動費に関すること ・ 行政視察の受け入れに関すること ・ 行政視察及び合同研修会に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
議員からの施策や 条例提案件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	10	10	10	10	10
	実績値	10	7				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				549千円	703千円	
	a 事業費合計			549千円	703千円	7,093千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				549千円	703千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				8 円	10 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	あまり貢献できなかった	×	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	C 先進事例を研究したことを評価することは困難であるため、議員提出議案の数を指標としている。 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、行政視察の受け入れ、訪問を見合わせていることから、先進事例の調査研究が思うよう進まず、政策提案へ繋がっていないものとも考えられる。 なお、予算規模自体は、議員が調査研究を行うものであり適正と判断する。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	行政視察の再開、所管事務調査のサポートを行う。 政務活動費の適切な執行により調査研究を行う。 行政視察の受け入れは担当課との連携に努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	行政視察の受け入れについては、事業担当課との連携、役割分担を図る。 所管事務調査の目的、効果を研究する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等